

# 「夏休みのくらし」(計画表)の使い方

【先生方へ】子供たちが充実した生活を送ることができるよう、参考にいただければ幸いです。

「夏休みのくらし」は、子供たちが自分で計画を立て、振り返りができるように作成しています。夏休みは朝の会も帰りの会もありません。一日のどこかで自分の生活を見つめ、自律した生活を過ごすことができるよう、「夏休みのくらし」を有効に活用してください。

- ① 夏休みの前に、めあてを立てましょう。
- ② 一日の生活の振り返りをしましょう。  
上の欄には、一日を振り返り、「楽しかったこと」、「うれしかったこと」、「やりとげたこと」、「悔しかったこと」、「反省したこと」などを一言で書きましょう。  
下の欄には、自分が立てた「めあて」を◎、○、△、●などで評価してみましょう。
- ③ 夏休みの終わりに、どんな夏休みだったのか、自分の足跡が残せると素晴らしいですね。

◎ 自分のめあてを立て、自分で評価し、家族にも見てもらって、足跡を残すことができるよう、指導していきましょう。

どの学年も、『夏の友』のP.4～13には、仕事、健康、情報モラル、運動、読書のコーナーがあります。めあてづくりに活用できるといいですね。

## 先生のアイデアひとつで

先生方の願いを込めたちょっとしたアイデアが、子供たちの有意義な夏休みの生活を生み出すことにつながります。



すすんでできた…あおいわれてからできた…きいろできなかった…あか

1, 2年生の「夏休みのくらし」には、自分で目標を決める欄があります。決めたことを、毎日続けられるようにご指導ください。

お家の方と一緒に振り返ったり、塗る色を工夫してみたりするのも面白いですね。夏休みの終わりに、楽しく、きれいな絵柄ができ、教室に掲示もできますね。



◎ 一人一人の子供の実態に即した指導をしましょう。毎日の振り返りをできることが望ましいですが、個に応じた指導をし、自分で考えた「夏休みのくらし」の使い方が「できた!」という達成感、充実感を味わえることが重要です。

長期の休業ですから、毎日の振り返りは、規則的な生活を送るためにも、自律できる力を培うためにも、大変大切なことです。

一日の出来事を川柳や俳句(5・7・5)で表現した子もいます。いずれも、担任の先生の素晴らしいご指導があつてのことと思います。

一人一人の子供が充実感や達成感を味わえるかどうかは、担任の先生のご指導にかかっていると思います。いろいろな使い方を示していきましょう。

★ 川柳・俳句編

その日の一句を考え、記録し続けることで、その子らしさがあふれる素晴らしい足跡を残せますね。

♥ 今日の一番編

その日に感じた一番楽しかったこと、嬉しかったこと、頑張ったこと、驚いたこと…、豊かな人間性を感じます。

◎ 他にもこんな使い方があります。

自分の生活を振り返り、毎日続けて記入していくことは、大変意味のあることですが、毎日書くことができないという子には、その子にも達成感や充実感を味わうことができる振り返りの仕方を一緒に考えてください。

- 例えば、やりきることができると、一番心に残った日のできごとを書く。
- 1週間単位や節目を決めて、その期間を振り返って書いたり、絵が好きな子は絵日記風に描く。
- 書く日があつたり、写真を切り貼りしたりしてもいい。



私が作った錫のお皿のようつは、花火で、花火がきれいにうきあがっているのでも、よい作品だなと思いましたが、作ったお皿には、ブルツなどをつけて食べたんです。

その子らしい足跡が残せるよう、子供に寄り添い、必要な助言をしていただくなど、柔軟なご指導をお願いします。